結 ゆいっこ 盛岡 新聞

ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO

vol.6 発行日／2011.11.30
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡

〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号棟
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

活動報告

復興支援イベント「もりアゲ↑マーケット」開催　（11月6日　盛岡市肴町）

宮古を盛り上げていこうという熱い気持ちを、盛岡からも後押しできたら…というイベント、『もりアゲ↑マーケット』を、11月6日（日）10時～15時まで肴町アーケード内で開催しました。被災地の為に何かしたいけど、なかなか沿岸まで行く時間がなく、できないでいた、等という方には必見のイベントになったと思います。フリーマーケット、宮古の物産販売、ボランティア体験…、などホットライン肴町は、その名の通り、とてもホットになりました。

雨が降る中、どれだけの皆さんに足を運んで頂けるのか不安もありましたが、午前中行った「復興祈念餅まき」は、予想を上回る盛況ぶりで、イベント全体の盛り上げに寄与できたと思っております。あっという間に終わってしまい、スタッフもびっくりでした。餅まきのお餅は、前夜にゆいっこスタッフが一生懸命準備しました。スタッフで丸め、「復興祈念」の紙を添え、1つ1つビニール袋につめました。前日に用意した紅白のお餅は全部で350個!

▲上／想いを込めて前日に準備した餅まき用の餅。　下／雨の中、沢山の方々にお集まり頂き、大盛況のイベントに。餅まきは、アッという間に終了。

▲上／初めての杵と臼での餅つき体験。おじいさまも嬉しそうに見守ってくださいました。　下／4回目に登場した餅つきの神様。見よ、この姿!つき方には無駄がなく、杵を持つ手にも力が入ります。

餅つきは、スタッフを含め、杵と臼で餅つきをする経験が意外となかったりするので、初めてされるお子さんや熟練のご年配の方などみなさんで楽しめました。「よいしょ～!よいしょ～!」の掛け声とともに、みなさんと一体化し、その場の雰囲気はとても温かいものでした。このノウハウを基に、是非宮古でも餅つきをしたいものです。時間を分け、全部で4回の餅つきを行ったのですが、4回目の餅つきでは、餅つきの神様!?も現われ、大いに盛り上がりました。つき方、アドバイスの仕方、いでたち、どれをとってもかなり見ものでした。是非、ゆいっこ餅つき隊に加わって頂きたい、とスタッフ全員同意見。

天井には、宮古市重茂地区よりお借りした大きな大漁旗。着物ハギレで小物の制作・販売をされている『あねさんショップ』さん、貝殻でアクセサリーを制作・販売されている『かけあしの会』さんにはわざわざ宮古から駆けつけて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。少しでも被災地のアピールに繋がってくれればと思います。『あねさんショップ』さんの作品は、ゆいっこホームページでも何回か紹介させて頂きましたが、本当に温かみのあるものばかりです。

◀「あねさんショップ」さんの前には、沢山のアクセサリー類が所狭しと並べられました。日々の生活にプラスすると、楽しくなりそう。

▶こちらは「貝磨き」コーナー。何度も紙やすりをかけ、携帯ストラップやネックレスに仕上げていきます。皆さん真剣な眼差しです。

◀手作りされた小物のバリエーションは様々で温かさが伝わってきます。スタッフも購入しました!!

▲こちらは「アクリルたわし」を作るコーナー。色とりどりの中から作っていきます。立ち寄ってくださる方が多く、人気のコーナーでした。

ヘアーアクセサリー、ブローチなど装いにアクセントをつけてくれるラインナップ。次回の販売も待ちきれません。ぜひ皆さまもご覧になってみてください。そういった小物の材料であるハギレの元となる、着物をほどく体験コーナーもありました。また、『かけあしの会』さんの貝磨き体験コーナーでは、参加者のみなさんが熱心に作業されていました。そして手作り品の制作・販売をされている『チームレインボゥ』さんのアクリルたわし作り体験コーナーでは、色鮮やかなものにあふれ、たわしにするにはもったいないくらいかわいいものばかりでした。このように、共に盛岡でも出来る復興支援の新しい形を、今回のイベントでご提示できたのではないかと思います。『チームレインボゥ』さん、ご協力大変ありがとうございました。また一緒に活動できればと思います。

お仕事、ご家庭の事情で沿岸支援に行きたくても足を運べない方は、是非ゆいっこにご相談下さい。内陸にいても一緒に出来る支援を考えていきましょう。県外では、予想通りだんだんと被災地への関心が薄れていく中、私達ゆいっこ盛岡は、これからも末長く、様々な活動をしていきたいと考えています。そして、今回ご協力頂きました肴町商店街組合の皆さま、イベントに携わって頂いた皆さま、心より感謝申し上げます。イベントに先立ち、ポスター掲示、チラシ設置、またHPなどでわざわざ告知してくださったりと本当にありがたいことばかりで、温かいお言葉も沢山頂きました。こうして皆さま方とつながりながら、今後も活動をしていきたいと考えております。

▲当日は支援コーナーの他に、多くのフリーマーケットスペースも。慣れていらっしゃる方々が多く、まるでお店が開店したようでした。また、被災地支援団体『マザーバード』さんのフリマブーズでは、パステルシャインアートのワークショップも開催されました。

そして今回のフリーマーケットの出店料は、全額ゆいっこの活動資金とさせて頂きました。 当日皆様から頂いた支援金と共に、有効に活用させて頂きます。心より御礼申し上げます。

●ゆいっこ盛岡支援金ボックスへの募金／7,683円
●フリーマーケットブース料／13,000円
●ゆいっこ盛岡手ぬぐい売り上げ／2,000円
●ゆいっこ盛岡フリマ売り上げ／1,690円（ゆいっこ盛岡フリマは、ボランティアスタッフの吉田由紀子さんに出品のご協力をいただきました。ありがとうございました。）

▶スタッフ長谷川が前日より仕込み、つきたてのお餅とベストマッチでした。長い行列が何度もできました。

復興まつり　（11月3日　宮古市）

11/3（木）に、宮古市のコープDORAにて、いわて生協さん主催の「復興まつり」がありました。そこに出店された宮古の『あねさんショップ』さん、田老の『ゆいとり』さん販売ブースのお手伝いをして参りました。『あねさんショップ』さんは以前ご紹介させて頂きましたが、『ゆいとり』さんも、『あねさんショップ』さん同様、地元の方々が心を込めて手作りした小物類を販売しています。

10月の「産業祭り」をコンパクトにしたようなイベントでしたが、相変わらずの盛況ぶりでした。ステージでの歌や踊り、モチまき…。また、様々なお店が出店しており、どこも賑わっていました。『あねさんショップ』さん、『ゆいとり』さんも、客足が途切れる事もなく、たくさんの人達に見て、買って頂けたと思います。また、隣のブースでは『かけあしの会』さんの携帯ストラップや復興ギフトの展示販売もしておりました。

10月の「産業祭り」といい、今回の「復興まつり」といい、市民全員で宮古を盛り上げていこうという熱い気持ちを感じ取ることができました。

▲「復興まつり」はみんなで盛り上げていこう、という気持ちが伝わってくる熱いイベントでした。

▲『あねさんショップ』さんの販売ブース。お客さまの反応がダイレクトに返ってくるので、お手伝いの私たちもドキドキしました。

▲イベントブースはもちろん、ステージでのパフォーマンスも大盛り上がりでした。

土葱の配布　（11月13日　宮古市近内雇用促進住宅）

11/13(日)、土葱を収穫し、宮古の近内雇用促進住宅で配る、というボランティア活動を行いました。この支援物資である土葱は、九戸村の関向竹志さんからご提供頂いたものです。当日にまず九戸村で葱を収穫をし、そのまま宮古へ向かう、という弾丸ツアーとなりました。

▲広大な葱畑に驚きました。生でかじってみたら甘くておいしかったです!

九戸村では、地元の方々と収穫しながら袋に積め、70袋強をバスに乗せました。ゆいっこメンバーより、葱袋の方が座席の割合を占めていたので、外から見たら不思議な光景だったと思います。宮古でいつもお世話頂いている、コーディネーター須賀原さんのお姉さまのご自宅で、お茶と南部せんべいを天ぷらで揚げたおやつを頂きました。とても美味しかったです。途中、岩泉で昼休憩を取り、一路宮古へ。バスの中は葱のにおいで強烈でした。

▲いつもお世話になっているOKバスさんのバスに積み込まれた葱の山。スタッフは何処?!

宮古に着いて、何度かお邪魔している近内の促進住宅の方々に、積んできた葱をメンバー全員でお渡ししました。皆様、葱を持っての訪問に驚かれていましたが、とても喜んで頂き、雨の中収穫した甲斐がありました。また、九戸の方々の気持ちも一緒に運べたかと思うと、嬉しいです。

帰りは葱のにおいが残るバスに揺られ、無事に帰って参りました。おかしなもので、到着する頃にはそのにおいにも慣れてしまっていました。急激な気温の変化もあり、これから風邪なども流行ってきますが、葱を食べて頂き、寒い冬を乗りきってほしいと思います。

▲メンバー全員で葱をお配りしました。皆さん、あまりの量に驚かれておりましたが、とても喜んでくださいました。

▶須賀原さんのお姉さまのご自宅でしばし休憩。南部せんべいを天ぷらで揚げたおやつが絶品。ごちそうさまでした。

仮設住宅の縁台作り　（10月22日　宮古市高浜地区仮設住宅）

私達ゆいっこは、仮設住宅に住んでいらっしゃる方々からの要望もあり、9月より「ひさし取付け」の修繕作業をメインの活動としてやってまいりました。しかし、この作業は国の予算で取り付けられることが決定し、私たちの活動も方向転換。次のニーズである「縁台の設置」へと取り掛かりました。仮設には多くの問題点があり、住んでいる方々にしかわからない不便があります。ひさしを作っている間に住人の方に伺ったのですが、仮設の窓側には物干しが付いているようですが、物干しの位置が悪く、洗濯物を干す際に不便なのだそうです。そこで「縁台」という案が出されました。活用用途も様々で、時には踏み台として、また時にはベンチとして…、そういう想いを込め作らせて頂きました。

10/22の縁台作りには、岩手日報労働組合さんの呼びかけにより、各地の新聞社の方々をはじめ、多くの方々に参加頂きました。

▲試行錯誤しながらの作業。皆さんが喜んでくださることを願い、一生懸命作らせて頂きました。

ゆいっこ盛岡のメンバーは、ひさし作りの経験もあるので、工具の扱いにもだいぶ慣れ、テンポよく作業を進めることができました。初めて参加される方にとってはやはり難しい点もあったようでした。この様子を見て、始めた当初の私たちもこんな感じだったな、と感慨にふけりました。あれから2カ月…、チームワークも、完成度も上がったように感じます。後半は、皆さんだいぶ慣れてこられたようで、結局この日出来上がった縁台は全部で12台。これらを高浜の仮設に設置して、今回の活動は終了しました。

修繕活動を行う際に、宮古の佐々木さんにはいつも大変お世話になっております。建材の用意、ひさしや縁台の設計、作製の指導、そして、お昼ごはんの差し入れまで。この活動は私たちだけでは出来ず、多くの皆様のご協力があるからこそ今まで続けられています。今回も、遠くは関西から参加して頂き、こうやって支援の輪が広がり続けてくれたら、と心から願っております。

その後、11月20日をもって、高浜地区の仮設住宅に必要な縁台35台を設置し終わりました。しかし他地区の仮設にも同様の問題はあります。今後も現地の方々とのコミュニケーションを大切にし、的確な支援につなげたいと思います。

▲地元の方々、そして多くのボランティアの方々のご協力のもと完成した縁台。気持ちもひとしおです。

クラフト市ツアー（9月18日 雫石町小岩井）

▲全国各地から集まってきたクラフトマンたちの作品が森の中に並び、素敵な空間でした。

9月の3連休は、フル回転活動のゆいっこ盛岡でした。以前から企画・募集していた小岩井CRAFT市ツアーを実施しました。このツアーの対象者は、宮古市にお住まいの方々です。blog等での募集の呼びかけは一切せず、現地でのチラシ配布でのみ募集しておりました。なかでも田老のグリーンピア内の仮設住宅にお住まいの皆さんには非常に多くご参加頂きました。お声掛けをして下さいました世話役の皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

朝7時にグリーンピアを出発。いつもお世話になっている岩手県北バスさんの大型バスに定員いっぱいに乗って、一路雫石の小岩井農場へ。「小岩井CRAFT市」とは、タイマグラの安部智穂さんが主催されていて、全国各地から沢山のCRAFTマンが集まります。会場は、小岩井のどんぐりコロコロの森です。森の中に所狭しとタープやテントを張って出店されます。陶器、ガラス、木工、草木染めの布、竹細工、フェルト小物など…、毎年この時期に開催され、多くの方々が訪れる秋らしいイベントです。

今回は、このイベント受付横に「チャレンジショップ」が特設されておりました。ここには被災地の方々が作られた手作りの小物や、出店している作家さんがチャリティー商品が並んでいました。今回、田老の方々が作られた商品を、ここに出店するべく届けることが1つのミッションでした。また2つ目の目的としては、手仕事で収入を得ていきたいという想いです。多くのレベルの高い作品が並ぶこのイベントから、今後の商品を作るにあたり、糸口をみつけられたら、という気持ちもありました。そして、大自然の中で美味しい空気を吸って頂き、ひと時でも癒しの時間を持つことこそが、家庭のお母さん達が元気でいられることにつながりますよね。何をしたわけでもありませんが、もう少し一緒に居たくなるような居心地のよいツアーでした。

▲田老のお母さん達によって作られた作品&作家さん達のチャリティー商品が並べられた「チャレンジショップ」の様子。今後の作業につながっていくことを心から願っております。

支援金をありがとうございました!

【支援金総合計(11/16現在)】 ¥967,579

【支援金をいただいた方(10/22~11/16)】

三浦様(岩手県)、カニングハム様(秋田県)、六波羅様(東京都)、(株)ブーン／高品様と自力整体教室の生徒様(東京都)と募金にご協力いただいた皆様(和田様ご夫妻、村田様、江花様、久保田様、結城様、高科様、大久保様、田上様、山崎様)、もりアゲ↑マーケットにてフリーマーケットに出店・出品いただいた皆様と募金にご協力いただいた皆様、小岩井クラフト市にご参加いただいた皆様(岩手県)、支援金BOX(設置ご協力／東京青果様、松作(株)様、岩手中央青果(株)様、Heg様、じゃじゃおいけん様、ハーレーダビッドソンカスタムショップTNT cycle様、志士の会2003−kyoto事務局様)にご寄付いただいた皆様

＜着物生地＞おゆずりください

宮古市の「あねさんショップ」では、着物のハギレを使って小物を作り販売しています。その材料である「絹」の着物生地のハギレ、反物、着物や帯のご寄附をお願いしています。美品であれば新品でなくとも結構です。おゆずりいただける方は、ゆいっこ盛岡までメールまたは電話でご連絡ください。宮古市の送付先をお知らせいたします。(送料はご負担いただければ幸いです)

活動記録(10/22~11/16)

月	日（曜日）	活動内容
10	22(土)	●仮設住宅の縁台作り、着物ほどき(宮古市高浜地区)
11	3(木・祝)	●「復興まつり」手伝い（宮古市）
	6(日)	●復興支援イベント「もりアゲ↑マーケット」開催（盛岡市肴町）
	13(日)	●土ねぎ配布(宮古市近内雇用促進住宅)

支援金募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

◆岩手銀行　津志田支店
店番／070　種目／普通預金
口座番号／2065288　口座名／ゆいっこ盛岡支部

◆ゆうちょ銀行
口座番号／6602251　記号番号／18350
口座名／ゆいっこ盛岡支部

◆郵便振替
番号／02200-1-110096　加入者／ゆいっこ盛岡支部

※「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりpdfでご覧いただけます。郵送をご希望の方は電話やメールにて事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation